

事業者団体の取組（案）

1 商品等の安全対策等

(1) ボタン電池等に関する安全対策

(一般社団法人 電池工業会)

① 電池工業会ガイドライン等の改定

I E C国際規格及びJ I S規格の改定で「コイン形リチウム一次電池の誤飲は死に至ることがある」旨記載されたことに対応し、表示に関するガイドライン等のうちコイン形リチウム一次電池を誤飲した際の危険性に関する項目について改定し、電池工業会のホームページ上で無償公開した。

② パッケージの表示改定について

上記ガイドラインに沿って、コイン形リチウム一次電池のパッケージへ注意喚起のための表示を改定する。具体的には、平成28年度より市場導入する。

③ パッケージの設計改良について

子供が開けにくいパッケージへの改良へ向け、電池工業会内に「コイン形リチウム一次電池のパッケージ検討WG」を新設し、検討を開始した。

誤飲事故防止のためのパッケージの在り方、基準、評価法等に関して具体的な協議と検証を行い、電池工業会としてのガイドラインを検討する。

電池工業会傘下の会員会社においては、改良したパッケージを平成28年度中に市場導入すべく取り組んでいく。

(2) 電池使用製品に関する安全対策

(一般財団法人 家電製品協会)

家電製品協会傘下の製造メーカーでは従来からも、ボタン電池を使用するリモコンに対し、ボタン電池を子どもが容易に取り出せたり、蓋が脱落しない構造について自主的に取り組んできた。現在においては、ボタン電池を使用する全てのリモコンについて対策を実施済みであるが、今後の対応として

① 誤飲の危険性及び誤飲防止に向けた安全対策が織り込まれた、オーディオ機器・情報機器のI E C 62368-1規格について、J I S規格化する。

② その他製品についても、I E C規格及び電池工業会の改定後のガイドライン等に準じ、安全対策について徹底していく。

(一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会)

ビジネス機械・情報システム産業協会では、ボタン電池等の誤飲に関する安全対策やガイドラインはないが、電池工業会のガイドブックをもとに電池室の設計を各メーカー独自の規格で実施している。当協会では、ボタン電池を使用する製品として電卓及び電子辞書があるが、これらは製品の性質上に机からの落下等を想定し、どの会員メーカーも電池室は容易に開かないような強度と構造になっている。すでに対策を実施済ではあるが、今後の対応として電卓、電子辞書やリモコンに対し、以下の安全対策を実施していく。

- ① 誤飲の危険性及び誤飲防止に向けた安全対策が織り込まれた、オーディオ機器・情報機器の I E C 62368-1 規格について、J I S 規格化する。
- ② その他製品についても、I E C 規格及び電池工業会の改定後のガイドライン等に準じ、安全対策について徹底していく。

(一般社団法人 日本計量機器工業連合会)

[家庭用計量器及び計量機器類について]

計工連加盟の計量器製造メーカーでは、ボタン電池を使用する電子体温計をはじめキッチンスケール、レタースケール等の計量器や歩数計、体組成計等の製造品に、従来から、ボタン電池を格納する蓋が脱落しにくい構造に、また、子どもが容易に取り出せないように工夫するなど、製造各社において、自主的に取り組んできた。

今後の対応として

- ① 内部技術委員会等を通じ、会員に対し、取り組みの強化を呼びかける。
- ② 関連 JIS 等の規格類は、定期改訂時に「蓋等の脱落防止」等の強化を計るべく、改定後のガイドライン等に準じ、安全対策について配慮する。

(一般社団法人 日本玩具協会)

- ① 会員・ST マーク使用許諾契約企業に対し、本アンケート結果を報告するとともに、ボタン電池の危険性と ST 基準（電池室の安全対策）について改めて書面にて周知徹底する。
- ② 消費者に対し、玩具の購入の際に、ST マークを目安とすることを啓発する。